



かたぐい

学校教育目標

夢ふくらませ 心かがやく ～ えがお さいこう ～

令和6年度
第59号
3月14日

卒業式 ～チャレンジ学年の一人一人にたくさんの幸せがありますように～

昨日、チャレンジ学年の13名が、6年間過ごした学び舎を巣立っていきました。

ご来賓や保護者、在校生からは見えませんが、私だけが味わえた感動・喜びを紹介します。それは、卒業証書を手渡す前の礼、手渡した後の礼で全ての子どもたちと目と目が合ったこと、「おめでとう」と小さい声で伝えらると、証書を受け取りながら「ありがとうございます」の言葉のかわりにうなずくようなしぐさを見せてくれたことです。

今年は、ブラス部が校歌や退場の場面で素敵なサウンドを響かせてくれました。95年にわたり歌い継がれてきた校歌を今年もまたすばらしい歌声で歌うことができました。前日まで欠席者0だったのが、当日は何人かの子どもが体調不良で欠席となり心配な面もありましたが、全校みんなの感謝と祝福の気持ちのこもった、すばらしい卒業式になりました。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。すばらしい仲間たちの活躍を、ずっと応援しています。



笑顔西広 「いつも近くにいた友達 友達っていいなあ」

卒業式を前日に控えた6年生が「卒業文集ができたので見てください」と届けてくれました。私たち職員からのメッセージや自分たちのプロフィールや思い出を綴った作文、何でもランキングなどが盛り込まれた素敵な一冊に仕上がっていました。目を通していううちに、あるページで私の手が止まりました。ある女の子の作文でした。あまりに感動したので、卒業文集だけに留めておくのはもったいなくて・・・ここで紹介します。

友達の言葉

R.S

私は友達の言葉でできることが増えたり、笑顔になったりしたことが増えました。

体育の時間の跳び箱ができないときに、友達が「勇気をもってやってみて」と言ってくれました。そして勇気を出してやってみたらできました。

私が転んでしまったとき、「大丈夫？」と声をかけてくれました。うれしかったです。

パワーアップタイムで縄跳びをしているとき、私は二重跳びに挑戦していました。友達も二重跳びをしていて、私は友達に「どうやったら跳べるの？」と聞きました。友達が「こうやったらできるよ」と教えてくれました。友達が教えてくれたおかげで3回跳べました。

友達が教えてくれたおかげで、いろいろなことができるようになりました。友達がいろいろ教えてくれたり、声をかけてくれたりしたおかげで、笑顔になることが増えました。

中学校では、友達が分からないときや困っていることがあったら、声をかけてあげたいです。友達と仲良くして、いろいろなことをがんばりたいです。そして、あまり家族や友達を頼らずに、自分でできることは自分でいろいろなことにチャレンジしたいです。

